

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 曾根 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

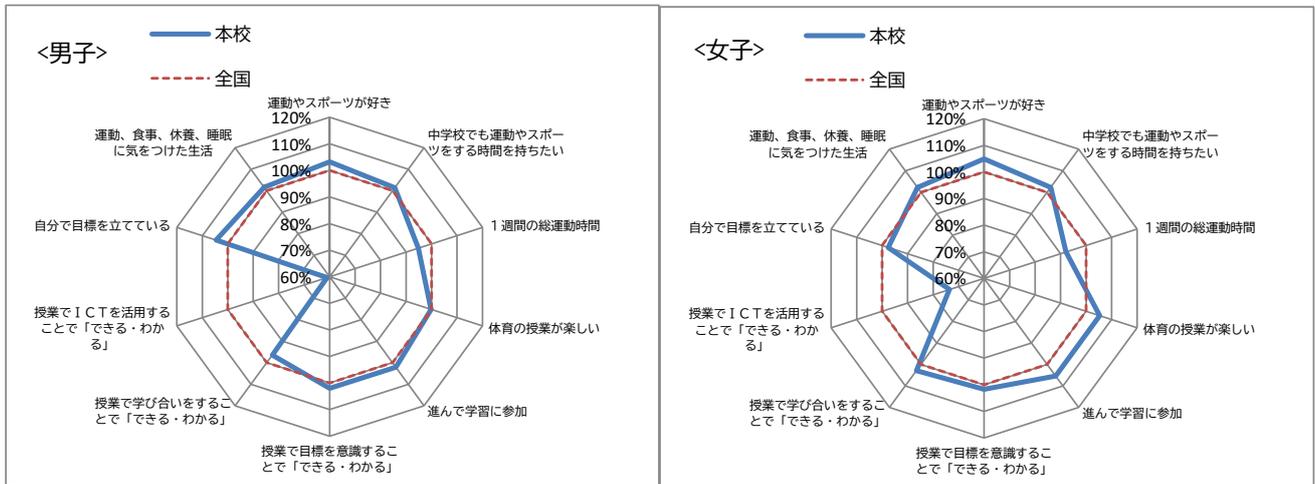
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09
本校全国平均以上の種目		○			○	○	○	○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98
本校全国平均以上の種目		○	○		○	○	○		○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査レーダーチャート



質問調査の結果分析

上記の質問紙調査結果において、おおむね全国平均を上回る結果が得られている。しかし、「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったり』することがある」に対して、全国平均を下回っている。また、「運動やスポーツが好き」、「進んで学習に参加する」と答えた児童の割合が多いものの、「1週間の総運動時間」は全国平均よりも低く、実際に体を動かしていないことが分かる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

ICTを効果的に活用した体育科学習を積極的に行っていく。そのための方策として、以下の2つのことに引き続き重点的に取り組む。①体育科専科を中心として、職員のICT研修を計画的に実施する。②ICTを効果的に活用した授業を職員間で見合い、授業力の向上に努めるとともに、子どもの運動量を多く確保する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

中休みの時間を利用して、外で「らんらんタイム」、室内で「曾根っ子体操(ロコモ体操)」に取り組む。
 ・「らんらんタイム」は、5分間音楽をかける間、学年ごとに異なる距離を自分のペースで走る。
 ・「曾根っ子体操」は、曲に合わせて、室内でできる簡単なストレッチに取り組む。